

なみえの暮らし

浪江町へ移住就農した花き農家の渡瀬正教さん・恵美さんご夫婦と、浪江町で梨園を再開し、震災後初めて梨を出荷した笠井宏光さんを紹介します。

浪江町に移住してわかったこの町が大好きだ



なみえ花工房（幾世橋） 渡瀬 恵美さん・正教さん

転職を考えていた際に、川内村のぶどう畑で人手が足りないという聞き、思い切って移住し、2年ほど働いていた渡瀬さん夫婦。農業に携わるうち、「自分たちの手で農業をやってみよう」と思い、新規就農ができる町を調べる中で浪江町に辿り着きました。

努力の種が綺麗に花咲いた

花き農家を立ち上げて1年目、出荷時期の忙しさは二人の想像を超えていました。「8月からお彼岸までの繁忙期は、一日の睡眠時間を3時間程度まで削りましたが、作業時間が足りず、花をダメにしてしまう日もありました」と振り返ります。

大変なことも多い花き農家ですが、嬉しいことも多く「花を出荷して市場で評価されることや買った人が喜んでくれる声を聞くと、自分たちの努力という名の花が咲いて、さらに頑張ろうという種になっていきます」。

花づくりに関しては夫婦というよりは共同経営

夫婦二人での共同経営だからこそ、信頼して農業に専念できる利点がとても大きい。「花を束ねたりなど手先の器用さが必要な作業を恵美さん、私が力仕事や体力の必要な作業を行うことで効率よく進められています」と、正教さん。恵美さんも「私たちは二人でいる時間が長いので、喧嘩をすることもありますが、お互いを尊重し協力しています」と、二人三脚で円満な共同経営をしています。

ゼロから復活させた梨で浪江町を笑顔にしたい



梨園（刈野） 笠井 宏光さん

ゼロから始まった梨園の再開

笠井さんは、約60年前に両親が始めた梨園を二代目として引継ぎました。しかし、震災・原発事故の長い避難生活で、果樹の手入れができず、除染のため全て廃棄となくなりました。

「浪江町の梨を特産品として未来に残したい」と思い、2016年から少しずつ苗を購入し、再出発の準備を始めました。育てた苗を地植えし、枝の管理などを行って、今年初めて「浪江町の梨」を出荷しました。

初出荷までには失敗もあった

笠井さんは「出荷できる梨を育てるまでには失敗もあったけど、初出荷できて、ほんと安心してました」と振り返ります。

「やることはたくさんあって大変だけど、少しでも浪江町を笑顔にできていたら嬉しいね。「美味しかった」と言ってもらえるのが、原動力」と、笑顔を見せました。

梨は手間をかけるほど美味しい

笠井さんは「こまめに手入れし、たくさん手間をかけてあげることが美味しい梨を育てるポイントだと語りました。出荷までには、枝の剪定や花が咲いたら受粉をさせて、摘果という作業を行います。「梨は一本の枝から複数の実がなるので、一番大きく綺麗な実だけを残すことで、大きい甘い梨が取れます」と笠井さん。

花き農家で生きていく難しさ

専業農家で生計をたてるだけでも難しいと言われる中、二人の目標は高く「花き農家を生業として生きていくことを決めたからには、専業でも生活ができることを示して、新たに就農する人の参考になりたい」と決意を見せます。

浪江町が大好きになりました

「浪江町は移住者を温かく迎えてくれる風土があり、とても住み心地が良いです。何か困ったことがあると周りの人達が助けてくれますし、なにより、今の私たちがいるのは先輩農家さんたちのおかげなので、とても感謝しています。それに、車で少し走ると都市部にも出られますし、近くには海、山川と自然があるので、繁忙期が落ちている時、自然とどっぷり楽しんでいきたい」と夫婦二人は笑顔を見せました。

なみえ花工房

浪江町花農家*Jinふる～の代表清水裕香里さんと先輩花き農家の川村博さんを始めとする先輩たちのもと、1年間の修行期間を経て、2022年4月に「なみえ花工房」を立ち上げた渡瀬さんご夫婦。ご夫婦が二人三脚で出荷したトルコギキョウは東京の大田市場で、高値をつけるなど高評価を受けています。



梨園再開に向けた想い

「梨園を再開して、浪江町を笑顔にしたい」という想いがあり、たくさん苦労も乗り越えられました。浪江で育てた梨を食べた人が笑顔になってくれるのは、本当に嬉しく、再開できて良かったと、梨園再開への想いが実りました。

浪江の特産品「梨」を目指し

笠井さんは、8種類の梨を育て、それぞれ収穫時期をずらして、梨を出荷しています。「なかなか機械化ができない作業が多くて、手作業が大変なこともあります。地道に続けていきたいと思っています。来年はもっと美味しい梨を作って、震災前のように浪江の特産品として残せるようにしていきたい」と、笑顔で話してくれました。

梨園



現在、南相馬市鹿島区で避難生活をしている笠井宏光さんは、浪江町を梨で笑顔にしたいと思い、梨園を再開させました。現在は8品種の梨と、たまねぎ「浜の輝」を育て、道の駅なみえに出荷しています。笠井さんが優しく愛情を注ぎ育てた梨*あきづきは、大ぶりで甘味が強く、柔らかい果肉にたっぷりの果汁と程よい酸味が爽やかなすっきりとした味わいが特徴です。